

年 組 名前：

玄関先に小さな「図書館」

井村 賢紳
木場 菜摘「シロヤギ文庫」を始めた
武藤露子さん
|| 北杜市白州町白須「シロヤギ文庫」
のホームページ
QRコード参照

北杜市白州町白須の武藤露子さん(40)は、玄関先などに本を入れた箱を置いて近隣住民が自由に本を貸し借りできる「リトル・フリー・ライブラリー」の取り組みを始めた。読書習慣の醸成と、地域の交流促進のために企画したといい、「リトル・フリー・ライブラリーのマップが作られるくらい取り組みが市内に広がってほしい」と話している。

（井村賢紳）

読書習慣醸成、交流契機に

北杜・武藤さん 地域で本貸し借り

武藤さんによると、取り組みは米国の非営利団体が始めた地域活動で、世界で20万ヵ所以上のリトル・フリー・ライブラリーが登録されている。県内では、武藤さんが初めて登録したという。

白いヤギ2匹を飼っているから、リトル・フリー・ライブラリーは「シロヤギ文庫」と名付けた。子どもや高齢者は図書館に行くのが難しい場合があることから、日常的に本に触れる機会をつくる狙いもあり、昨年11月にスタートした。武藤さんはハケ岳エリアの澄んだ空をイメージして、青色にした。武藤さんは所有するエッセイ集や料理本、絵本などを約10冊入れてある。利用者は本を借りるほか、読み放題の本を本箱に入れて他の人に貸し出すこともできる。「シロヤギ文庫」と書かれた紙のしおりも配布している。武藤さんは、自宅にある本を共有することで、地域住民とつながるきっかけになればいいと話している。

(2026年1月10日付 山梨日日新聞16面)

問1

北杜市白州町の武藤さんが始めた「リトル・フリー・ライブラリー」とは、どのような取り組みですか。

問2

武藤さんは、リトル・フリー・ライブラリーを何と名付けましたか。また、その理由も答えてください。

・名称: _____

・理由: _____

問3

リトル・フリー・ライブラリーは米国から始まりました。この取り組みの良い所を答えてください。